

## 日本陸上競技連盟からのお知らせ

## 目 次

## ■活動報告

## ●「7C-Teensプロジェクト」日本選手権バックヤードツアーを終えて

審判や大会運営に興味のある7名の高校生により発足した「7C-Teensプロジェクト」。日本選手権バックヤードツアーで感じたこと、考えたことを踏まえながら、未来の陸上界をより盛り上げていくためにという思いで意見交換を行いました。

## ●2021全国高等学校リモート陸上競技大会、

## 第67回全日本中学校通信陸上競技大会 報告

各都道府県で開催した「リモート陸上」大会のリザルトを本連盟が収集し、ワールドアスレティックスが採用するポイント制度を採用しランキング形式で日本一を決定するという取り組みを実施いたしました。

## ■大会観戦ガイド

## 「JOCジュニアオリンピックカップ 第15回U18/第52回U16陸上競技大会」

「第75回福岡国際マラソン選手権大会兼 ジャパンマラソンチャンピオンシップシリーズ 兼 オレゴン2022世界陸上競技選手権大会マラソン日本代表選手選考競技会 兼 杭州2022アジア競技大会マラソン日本代表選手選考競技会」

## ■事務局からのお知らせ

第15回U18 / 第52回U16 陸上競技大会 応募総数484作品の中から大会キャッチコピーが決定!! 大会キービジュアルも同時公開!

ライフスキルトレーニングプログラム 第2期受講生募集 ~競技においてもキャリアにおいても「自分の最高を引き出す技術」を習得する~

競技会場等で静脈内注入および/又は静脈注射を行う際の注意について

## information

- ・日本陸連登録料の設定について

<https://www.jaaf.or.jp/about/fee/>



- ・代表選手派遣大会選考要項 2022年度

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/15231/>



- ・シューズ規則/広告規定について

<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/>



- ・アンチドーピング/鉄剤注射の防止

<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/medical/>



- ・陸上競技場、長距離競走路の認定について

<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/shisetsu/>



- ・【オレゴン世界選手権】エントリースタンダード

[https://www.jaaf.or.jp/files/upload/202108/17\\_171714.pdf](https://www.jaaf.or.jp/files/upload/202108/17_171714.pdf)



# 【7C-Teensプロジェクト】 日本選手権バックヤードツアーを終えて



## 【第3回 オンラインミーティング 活動報告】

審判や大会運営に興味のある7名の高校生により発足した「7C-Teensプロジェクト」。日本選手権バックヤードツアーで感じたこと、考えたことを踏まえながら、未来の陸上界をより盛り上げていくためにという思いで意見交換を行いました。意見交換では大きく分けて以下3つの項目で行い、具体的なアイデア等については日本陸連のホームページにて紹介しております。(右図QRコードからご覧頂けます)

(第1回オンラインミーティングおよび日本選手権バックヤードツアーについては、陸上競技マガジン9月号272ページ陸連時報に掲載しております。)



## ■競技やイベントでの体験について

今回のプロジェクトを含め、様々な体験・経験がより陸上を好きになるきっかけに繋がっていると感じたことから、どのような体験ができるか良いかを考えました。全体を通して、日本を代表するトップ選手と交流することは、競技以外の選手の一面を知ることができ、より陸上や選手に興味をもったり、頑張るきっかけに繋がっていたりするのではないかと、という意見が多くありました。

## ■審判や補助員の体験について

バックヤードツアーに参加することで初めて知った審判部署や役割がたくさんあったことから、陸上の審判や補助員を経験する機会の作り方について、現状も踏まえながら検討をしました。

また、メンバーの中には、既にC級審判員として活躍している学生もあり、今後さらに高校生の活躍の場が広まることを楽しみにする声もありました。具体的な案の一つとしては、多くの陸上部員が経験する補助員の配置を大会毎や時間帯によって様々な部署を経験できるようにすること、補助員の回ってこない学校や陸上部以外の学生でも参加できる間口を作ることなどが上がりました。

## ■情報発信の方法について

陸上界をより盛り上げていくために、若い世代に陸上に興味をもってもらうため注目度の向上や話題性に繋がるアイデ

ィアを出し合いました。さらにそこから、陸上の審判や補助員に興味をもってもらうため、陸上が好きの人へのアプローチ方法についても検討しました。高校生だからこそ持てる視点や、陸上が好きだからこそ思い浮かぶアイデアがたくさん集まりました。

## ■7C-Teensプロジェクトの今後について

本プロジェクトは、全3回の活動で一区切りとし活動終了となります。

最後に7プロの存続について意見を聞いてみると、「新しいメンバーが今とはまた違う目線で参加することが、今後に繋がると思う」、「3年生は卒業し、その分新しいメンバーが参加していく方式にすると毎回リセットされず、プロジェクトの継続性も出せるのではないか」という意見ができました。その他、「人数を増やしてグループを分けて実施してみたい!」、「オンラインではなくリアルで活動したい!」、「2回目があれば是非また参加したい!」と前向きな意見も多くありました。

## 【7C-Teensプロジェクトメンバー】

- ・山中 杏珠 (長野・松本秀峰中等教育学校2年)
- ・大谷 晴海 (福島・磐城緑蔭高等学校3年)
- ・赤間 美恋 (茨城・古河中等教育学校2年)
- ・田辺 勇希 (東京・成蹊高等学校3年)
- ・中村 えみり (東京・日本女子体育大学附属二階堂高等学校3年)
- ・宮東 桜子 (東京・都立国際高等学校1年)
- ・塚本 華帆 (熊本・鹿本高等学校2年)

本プロジェクトを終えた7名それぞれの感想は、日本陸連ホームページに掲載しております。(右図QRコードからご覧頂けます)



## 【最後に】

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、全ての活動がオンラインとなりましたが、オンラインだからこそ全国から参加者が集まり、全員が最後まで揃って活動することができました。こうした活動が、影の立役者への一歩を踏み出そうとしている皆さまの背中を後押しするきっかけになれば幸いです。

勇気をもって本企画に応募いただいた7人のメンバーの皆さん、本当にお疲れ様でした。学校生活や部活動、習い事などがある中、毎回時間を作り準備をして臨むことは容易ではなかったと思います。それでも、回を重ねるごとに一人一人表情が変わり、このままプロジェクトを続けたら何かやってくれるのでは?と大きなエネルギーを感じるほどでした。

共感し合い、刺激し合い、7人の絆が深まった充実感のある貴重な時間は、きっとそれぞれの自信に繋がっているものと思います。これからの7プロメンバーの益々のご活躍をお祈りしています。未来が明るいものでありますように。

# 2021 全国高等学校リモート陸上競技大会、 第67回全日本中学校通信陸上競技大会 報告

昨年、新型コロナウイルスの影響により中止になりました「第47回全日本中学校陸上競技選手権大会（以下：全中）」、「第73回全国高等学校陸上競技対校選手権大会（以下：高校総体）」の代替企画として、「リモート陸上」と称し各都道府県で開催した大会のリザルトを本連盟が収集し、ワールドアスレティックスが採用するポイント制度を採用しランキング形式で日本一を決定するという取り組みを実施いたしました。

本年につきましても昨年の取り組みの形式を継承し、第67回全日本中学校通信陸上競技大会（以下、中学通信陸上）は都道府県の通信陸上56大会<sup>\*1</sup>、2021 全国高等学校リモート陸上競技大会（高校リモート）は都道府県高校総体56大会<sup>\*2</sup>及びブロック大会11大会<sup>\*3</sup>の計67大会を対象に、日本一をオンライン上で決めると同時に、指定大会に出場する全ての中学生、高校生の記録を残すことで陸上競技の普及に貢献すべく取り組んで参りました。

中学通信陸上では延べ67,994人、高校リモートでは延べ82,176人、合わせて延べ150,170人のベストポイン

トと記録を記載し、掲載された全ての記録の記録証が本連盟公式サイトからダウンロード可能となります。また、種目別の人数では、中学通信では女子800mの3,413人、男子3年100mの3,186人、高校リモートでは、女子100mの3,021人、男子100mの4,111人が最多でした。

- ※1 北海道のみ10支部で開催（函館・厚別・小樽・帯広・釧路・岩見沢・旭川・網走・室蘭）
- ※2 北海道のみ10支部で開催（函館・小樽・室蘭・札幌・空知・旭川・名寄・十勝・釧根・北見）
- ※3 北海道、東北、北関東、南関東、北信越、東海、近畿、中国、四国、北九州、南九州

## ※人数について

- ・複数種目に参加の競技者も多数いるため実数ではありません。
- ・リレー種目のリザルト掲載数は、1チームにつき4名出場していることから出場校1校につき4人を計上しております。
- ・指定大会で、記録なし、途中棄権、失格の場合はランキングに含まれません。

2021リモート陸上種目別延べ参加人数

第67回中学通信

種目	女子	男子	計
1年100m	2,864	3,138	6,002
2年100m	2,769	3,109	5,878
3年100m	2,620	3,186	5,806
200m	2,461	2,837	5,298
400m	—	1,757	1,757
800m	3,413	2,208	5,621
1年1500m	—	1,915	1,915
1500m	2,376	3,112	5,488
3000m	—	1,837	1,837
100mH/110mH	1,820	1,178	2,998
走幅跳	1,986	1,964	3,950
走高跳	805	694	1,499
棒高跳	—	342	342
砲丸投	1,267	1,251	2,518
四種競技	676	445	1,121
個人種目合計	23,057	28,973	52,030
4x100mR	7,788	8,176	15,964
第67回通信陸上総計	30,845	37,149	67,994

高校リモート

種目	女子	男子	計
100m	3,021	4,111	7,132
200m	2,468	3,490	5,958
400m	1,955	3,014	4,969
800m	2,218	3,142	5,360
1500m	2,170	3,300	5,470
3000m/5000m	1,527	2,230	3,757
100mH/110mH	1,346	1,210	2,556
400mH	1,117	1,431	2,548
3000mSC	—	1,525	1,525
5000mW	343	467	810
走高跳	860	828	1,688
棒高跳	349	386	735
走幅跳	1,563	1,875	3,438
三段跳	912	1,113	2,025
砲丸投	1,091	1,369	2,460
円盤投	1,043	1,238	2,281
ハンマー投	579	732	1,311
やり投	1,154	1,358	2,512
七種競技/八種競技	478	595	1,073
個人種目合計	24,194	33,414	57,608
4x100mR	5,752	7,016	12,768
4x400mR	4,936	6,864	11,800
リレー種目合計	24,194	33,414	24,568
2021高校リモート総計	48,388	66,828	82,176

※ 中学通信のポイントについて

- ・女子100mH、男子110mH、男子砲丸投は中学生規格で行っていますが、ポイントはワールドアスレティックスの採点表をそのまま使用しています。
- ・混成競技はポイント化せず、記録により集計しています。

※ 高校リモートのポイントについて

- ・男子砲丸投、円盤投、ハンマー投はU20規格の器具（シニアより重量が軽い器具）で行っていますが、ポイントはワールドアスレティックスの採点表をそのまま使用しています。
- ・競歩、混成競技はポイント化せず、記録により集計しています。
- ・ポイントが同点の場合は同順位とします。女子走高跳、男子400mはこれにより同点の2人がともに1位となります。

2021リモート陸上 都道府県別参加者数

都道府県	中学通信			高校リモート			総計
	個人種目	リレー種目	計	個人種目	リレー種目	計	
北海道	6,384	1,184	7,568	4,950	1,496	6,446	14,014
青森	1,326	332	1,658	1,154	328	1,482	3,140
岩手	636	348	984	1,072	472	1,544	2,528
宮城	748	560	1,308	1,283	744	2,027	3,335
秋田	515	188	703	1,232	364	1,596	2,299
山形	814	276	1,090	1,458	436	1,894	2,984
福島	662	56	718	938	348	1,286	2,004
茨城	829	292	1,121	996	588	1,584	2,705
栃木	697	240	937	1,246	304	1,550	2,487
群馬	1,232	624	1,856	1,463	444	1,907	3,763
埼玉	1,273	468	1,741	1,666	1,392	3,058	4,799
千葉	846	168	1,014	1,613	1,108	2,721	3,735
東京	1,081	548	1,629	1,243	712	1,955	3,584
神奈川	1,258	340	1,598	1,354	752	2,106	3,704
山梨	973	212	1,185	951	256	1,207	2,392
新潟	797	392	1,189	1,637	720	2,357	3,546
長野	727	72	799	890	476	1,366	2,165
富山	475	196	671	1,045	312	1,357	2,028
石川	852	328	1,180	980	324	1,304	2,484
福井	688	252	940	755	244	999	1,939
静岡	945	476	1,421	1,175	456	1,631	3,052
愛知	832	304	1,136	1,118	600	1,718	2,854
三重	1,492	540	2,032	1,582	436	2,018	4,050
岐阜	1,443	504	1,947	743	492	1,235	3,182
滋賀	489	260	749	1,325	464	1,789	2,538
京都	1,041	432	1,473	1,061	648	1,709	3,182
大阪	1,156	1,004	2,160	3,588	1,440	5,028	7,188
兵庫	690	184	874	1,085	1,788	2,873	3,747
奈良	567	148	715	1,054	308	1,362	2,077
和歌山	876	340	1,216	880	244	1,124	2,340
鳥取	709	180	889	578	156	734	1,623
島根	910	276	1,186	799	248	1,047	2,233
岡山	1,282	404	1,686	976	520	1,496	3,182
広島	711	340	1,051	955	536	1,491	2,542
山口	794	124	918	807	484	1,291	2,209
香川	1,500	276	1,776	1,029	304	1,333	3,109
徳島	1,261	168	1,429	642	216	858	2,287
愛媛	1,108	208	1,316	680	356	1,036	2,352
高知	730	160	890	664	184	848	1,738
福岡	1,343	484	1,827	1,000	484	1,484	3,311
佐賀	1,336	280	1,616	941	292	1,233	2,849
長崎	1,680	432	2,112	1,605	532	2,137	4,249
熊本	1,789	368	2,157	1,473	416	1,889	4,046
大分	541	168	709	885	288	1,173	1,882
宮崎	1,698	344	2,042	1,057	312	1,369	3,411
鹿児島	1,634	356	1,990	1,280	348	1,628	3,618
沖縄	660	128	788	700	196	896	1,684
総計	52,030	15,964	67,994	57,608	24,568	82,176	150,170

2021リモート陸上 各種目1位

第67回中学通信

種目	氏名	都道府県	学校名	学年	ポイント	記録・風力
女子						
女子1年100m	伊藤優亜	千葉	旭二	1年	939.0pt	12.27 +1.3
女子2年100m	秋澤理沙	新潟	吉田	2年	960.0pt	12.16 +0.3
女子3年100m	小針陽葉	静岡	沼津原	3年	1013.0pt	11.89 +1.7
女子200m	島田幸羽	大阪	咲やこの花	3年	981.0pt	24.58 +0.5
女子800m	中村愛花	群馬	中央中等	3年	945.0pt	2:12.74
女子1500m	川西みち	福岡	永大丸	3年	993.0pt	4:27.67
女子100mH	谷中天架	福岡	八屋	3年	1038.0pt	13.87 -0.5
女子4x100mR	咲やこの花	大阪	咲やこの花	—	964.0pt	48.23
女子走高跳	高橋美月	岩手	城西	3年	916.0pt	1m69
女子走幅跳	成沢沖日	群馬	数塚本町	2年	979.0pt	5m91 +0.4
女子砲丸投	坂はる	大分	富田林二	3年	877.0pt	14m70
女子四種競技	石原南菜	栃木	足利二中	1年	—	2,826点
男子						
男子1年100m	楠本陽	富山	富山南部	1年	761.0pt	11.44 +1.4
男子1年1500m	佐藤広崇	大阪	浪商	1年	634.0pt	4:20.07
男子2年100m	生良奏人	千葉	鴨川	2年	831.0pt	11.19 +0.2
男子3年100m	年綱晃広	兵庫	塩瀬	3年	959.0pt	10.76 +0.6
男子200m	日吉志優汰	宮崎	南	3年	902.0pt	22.17 +1.9
男子400m	橋本悠	埼玉	熊谷三尻	3年	889.0pt	49.48
男子800m	川口峻太郎	岡山	京山	3年	860.0pt	1:56.07
男子1500m	大島福	栃木	厚崎	3年	870.0pt	3:58.72
男子3000m	鈴木琉嵐	千葉	小金北	3年	861.0pt	8:34.92
男子110mH	中村駿汰	長野	旭町	3年	1057.0pt	14.05 +1.5
男子4x100mR	大津	神奈川	大津	—	871.0pt	42.94
男子走高跳	井川稜斗	三重	厚生	3年	853.0pt	1m93
男子棒高跳	岸本都夢	香川	玉藻	3年	867.0pt	4m53
男子砲丸投	中野完	静岡	伊豆の国蓮山	3年	877.0pt	6m79 +0.9
男子砲丸投	菅野颯輝	東京	八王子二	3年	831.0pt	15m13
男子四種競技	神田大和	新潟	大崎学園	3年	—	2,964点

高校リモート

種目	氏名	都道府県	学校名	学年	ポイント	記録・風力
女子						
女子100m	角良子	鳥取	倉吉東	3年	1060.0pt	11.66 +0.1
女子200m	祝田ジュニア瑛美	東京	城西	1年	1029.4pt	23.94 +2.1
女子400m	河内瀬桜	大阪	東大阪大敬愛	3年	1040.0pt	54.27
女子800m	丹羽遥奈	埼玉	昌平	3年	1022.0pt	2:08.12
女子1500m	ジャネットニウヴァ	岡山	倉敷	2年	1098.0pt	4:13.72
女子3000m	カリバコライン	鹿児島	神村学園	1年	1092.0pt	9:04.13
女子100mH	大谷すみれ	神奈川	法政二	2年	1058.4pt	13.71 -0.4
女子400mH	河内瀬桜	大阪	東大阪大敬愛	3年	1055.0pt	58.86
女子5000mW	永井優也	北海道	北見緑陵	3年	—	22:37.59
女子4x100mR	中京大中京	愛知	中京大中京	—	1065.0pt	45.70
女子4x400mR	相洋	神奈川	相洋	—	1033.0pt	3:42.78
女子走高跳	伊藤楓	東京	東京	3年	984.0pt	1m76
女子棒高跳	岡野弥幸	埼玉	埼玉栄	3年	984.0pt	1m76
女子走幅跳	柳川美空	埼玉	前橋育英	1年	960.0pt	4m00
女子走幅跳	吉田花鈴	大阪	摂津	3年	1010.0pt	6m05 +0.4
女子三段跳	宮繁愛葉	大阪	大体大浪商	3年	983.0pt	12m68 +0.9
女子砲丸投	今西あかり	奈良	添上	3年	856.0pt	14m37
女子円盤投	西井琳音	三重	三重高	3年	768.0pt	43m45
女子ハンマー投	村上来花	青森	弘前美	3年	948.0pt	60m99
女子やり投	村上碧海	広島	西条農	3年	941.0pt	52m61
女子七種競技	中尾日香	兵庫	長田	2年	—	5,042点
男子						
男子100m	佐賀陽	青森	田名部	3年	1122.8pt	10.17 +4.2
男子200m	水崎翔	新潟	開志国際	3年	1038.6pt	21.06 +3.4
男子400m	小山蓮	東京	西	3年	1036.0pt	47.14
男子800m	林武広	千葉	富里	3年	1036.0pt	47.14
男子1500m	兵藤ジュダ	静岡	東海大翔洋	3年	1057.0pt	1:48.91
男子5000m	佐藤士汰	京都	洛南	3年	1059.0pt	3:43.54
男子110mH	コススムスファンク	広島	世羅	3年	1096.0pt	13:31.88
男子400mH	小池綾	大阪	大塚	3年	1059.2pt	13.96 +2.3
男子3000mSC	高橋遼将	愛知	中京大中京	3年	1063.0pt	51.37
男子5000mW	黒田朝日	岡山	玉野光南	3年	1042.0pt	8:48.48
男子4x100mR	奥野達	大阪	清風	3年	—	20:37.25
男子4x400mR	中京大中京	愛知	中京大中京	—	1075.0pt	40.00
男子走高跳	東福岡	福岡	東福岡	—	1023.0pt	3:11.31
男子棒高跳	チェクシジョエル権人	千葉	八千代松陰	2年	1037.0pt	2m14
男子走幅跳	原口篤志	奈良	王寺工	3年	1021.0pt	5m10
男子走幅跳	舞永夏稀	大阪	太成学院	3年	1090.0pt	7m78 +1.5
男子三段跳	渡辺多瑞嘉	京都	北椋	3年	1016.0pt	15m60 +1.5
男子砲丸投	小森直吏	山梨	身延	3年	912.0pt	16m49
男子円盤投	森戸純	茨城	鉾田二	3年	868.0pt	49m49
男子ハンマー投	小川彰	三重	久居	3年	982.0pt	66m21
男子やり投	井上堅斗	京都	久御山	3年	910.0pt	66m53
男子八種競技	遊佐祥太	宮城	利府	3年	—	5,545点

# 大会観戦ガイド

## 第15回U18/第52回U16陸上競技大会

- ▼期日：2021年10月22日(金)～10月24日(日)
- ▼会場：愛媛県総合運動公園陸上競技場  
〒791-1136 愛媛県松山市上野町乙46
- ▼アクセス：伊予鉄バス こどもの城、とべ動物園営業  
時間内松山市駅バスターミナルより(30分間隔)3番  
線「砥部線(えひめこどもの城行き)」ニンジニアス  
スタジアム(陸上競技場)前下車  
松山インターチェンジより 車で約10分

### ▼競技種目：

#### U16男子(11種目)

100m、150m、1000m、110mH(0.991m/9.14m)、  
走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投(5.000kg)、  
ジャベリックスロー、円盤投(1.500kg)

#### U16女子(11種目)

100m、150m、1000m、100mH(0.762m/8.50m)、  
走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投(2.721kg)、  
ジャベリックスロー、円盤投(1.000kg)

#### U18男子(15種目)

100m、300m、800m、3000m、110mH(0.991m/  
9.14m)、300mH(0.914m/35m)、3000mW、走高跳、  
棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投(6.000kg)、円盤投  
(1.750kg)、ハンマー投(6.000kg)、やり投(800g)

#### U18女子(15種目)

100m、300m、800m、1500m、100mH(0.762m/  
8.50m)、300mH(0.762m/35m)、3000mW、走高跳、  
棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投(4.000kg)、円盤投  
(1.000kg)、ハンマー投(4.000kg)、やり投(600g)

### ▼問合せ先：【日本陸上競技連盟・事務局】

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-2  
JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9階

### 【愛媛陸上競技協会】

〒790-0004 愛媛県松山市大街道3丁目6-2  
岡崎第5ビル 501号

### 【お問合せはこちら】

<https://forms.gle/WPwVCbGph3t6rk5x8>

### ▼大会ページ：

<https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1575/>

## 第75回福岡国際マラソン選手権大会

- ▼期日：2021年12月5日(日)12時10分スタート
- ▼コース：福岡朝日国際マラソンコース(平和台陸上競  
技場～福岡市西南部周回～香椎折り返し)42.195km
- ▼アクセス：  
地下鉄「赤坂」「大塚公園」下車 徒歩8分 西鉄バス「福  
岡城・鴻臚館前」「福岡市美術館東口」「大手門・平和  
台陸上競技場入口」下車 徒歩5分～8分「赤坂3丁目」  
下車 徒歩10分  
都市高速「天神北ランプ」「西公園ランプ」より約3キ  
ロ(園内に駐車場あり)
- ▼競技種目：  
マラソンの他に、15km、20km、ハーフ、25km、  
30kmの記録が公認される。ただし、完走した競技者  
が対象
- ▼問合せ先：  
【福岡国際マラソン選手権大会事務局】  
〒812-8511 福岡市博多区博多駅前2-1-1  
朝日新聞社西部企画事業チーム内  
Tel：092-411-1137  
E-mail：s-marathon@asahi.com
- ▼大会ページ：  
<https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1585/>



写真：フォート・キシモト



事務局からのお知らせ

◆◆第15回U18 / 第52回U16 陸上競技大会 応募総数484作品の中から大会キャッチコピーが決定!!  
大会キービジュアルも同時公開!◆◆

2021年8月17日(火)～8月24日(火)にわたり募集いたしました「第15回U18陸上競技大会」および「第52回U16陸上競技大会」の大会キャッチコピーが決定いたしましたのでお知らせいたします。

応募総数は484作品!ご応募いただいたキャッチコピーには、選手の大会へかける想いや選手を支える方々の想いがたくさん詰まった作品ばかりで、審査には多くの時間を要しましたが、厳正な審査を行った結果を発表いたします。また、今回採用された大会キャッチコピーに込められた想いのもと作成しました大会キービジュアルも、公開いたしました。



▼詳細はこちら

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/15516/>



◆◆ライフスキルトレーニングプログラム 第2期受講生募集  
～競技においてもキャリアにおいても「自分の最高を引き出す技術」を習得する～◆◆

本連盟では、昨年度に引き続き、株式会社東京海上日動キャリアサービスのサポートのもと、日本や世界の頂点に挑み続ける陸上競技者のパフォーマンス向上とキャリア自立を両立する「ライフスキルトレーニング」を実施いたします。



▼プログラムの概要、応募資格、エントリー方法の詳細はこちら

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/15527/>



◆◆競技会場等で静脈内注入および/又は静脈注射を行う際の注意について◆◆

第32回オリンピック競技大会(2020/東京)の開催期間中に、世界アンチ・ドーピング規程禁止表国際基準の禁止方法『M2化学的および物理的操作 2.静脈内注入および/又は静脈注射』について世界アンチ・ドーピング機構(WADA)の見解が示されましたので、お知らせいたします。

▼詳細はこちら

[https://www.jaaf.or.jp/files/upload/202108/26\\_180739.pdf](https://www.jaaf.or.jp/files/upload/202108/26_180739.pdf)



陸連時報編集委員

◇編集委員

横川 浩 (陸連会長)  
友永 義治 (陸連副会長)  
八木 雅夫 (陸連副会長)  
尾縣 貢 (陸連専務理事)  
麻場 一徳 (陸連強化委員長)  
鈴木 英穂 (陸連事務局長)  
牧野 豊 (陸上競技マガジン編集長)

◇時報編集室責任者

石井 朗生  
◇時報編集担当  
石田 夢

陸連時報編集室

〒160-0013  
東京都新宿区霞ヶ丘町4-2  
JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9階  
日本陸上競技連盟内  
TEL : 050-1746-8410  
FAX : 050-3588-1869